

保護者の皆様へ

天龍中学校長 塩澤孝仁

令和5年度卒業生の皆さん及び保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。また、1・2年生及び保護者の皆様、1年間の課程修了おめでとうございます。天龍中学校職員一同、生徒のご家庭や地域と連携し、「ひとりになれる ひとつになれる」の重点目標の下で「未来を拓く力」と「天龍力」を育むべく努めてまいりました。今年度1年間の保護者や地域の皆様に対しまして、本校の教育活動へのご理解ご支援に大変感謝申し上げます。ありがとうございました。



～卒業式での式辞・送辞・答辞より 一部抜粋～

学校長式辞より

(前略) 三年生の学級目標は「阿修羅 ～責任・個性・笑顔～」でした。阿修羅像の「三面六臂」には一人で数人分の成果をあげること。または、様々な違う分野で活躍することという意味があります。少ない人数だからこそ、自分自身の仕事と行動に責任をもってそれぞれ活躍していきたいという願いでこの学級目標をもとに取り組んできました。

また、本校重点目標である「ひとりになれる ひとつになれる」を実践する皆さんの姿をたくさん見てきました。先輩後輩や先生方、家族や地域の方々に支えられながら、三面六臂の活躍で、素晴らしい成長をしてきました。生徒会活動や譲葉祭・部活動で後輩のよきモデルとなって活動し、素晴らしい文化も残してくれました。

これから先の社会は、不穏な世界情勢やAI・人工知能の急激な発達など、先が見えない、予想もつかない世の中となっています。このような社会の中で生き抜いていくためには、自分と向き合い、多様な考えを持った仲間とともに協働し、自分なりの答えを導き出していく力が求められます。そのために大切な事は、「常に、問いを持つ」ということです。このことは、いつもみなさんに伝えてきたことです。私達はついつい答えを探しがちになりますが、人生の中には正解が無いものが多く、その時は正解に見えても時間が経つと正解ではなくなる事も多いのです。しかも、人は思考や感情、価値観が移り変わっていくものなので、時々で導き出す答えも違ってきます。ですから、自分にとって大切なものを問い直せる自分なりの「問い」を持つことが大事です。「自分の生き方に問いを持つ」「なぜそうなのか問い直す」常に問い続ける事で学びを深めることができます。そして、その問いの精度を高めていきましょう。

これが私から皆さんへのエールです。…

在校生送辞より抜粋

三年生と一緒に活動していくなかで、みんなが楽しめる文化祭をつくるという本気な気持ちが伝わってきました。そのおかげで、大きな達成感を感じることができました。そして、七人という少人数で「The best memory」を胸に刻むことができたことと思います。また、三年生が歌う合唱「道」は、とても迫力があり、私達もたくさんの影響を受けました。譲葉祭を無事成功できたのは、皆さんが率先して私達を動かしてくださり、支えてくださったおかげです。MCや、発表で会場を盛り上げる姿は私達のあこがれの姿です。

来年はいよいよ小中併設校となります。私達は学校の最高学年として、期待と不安がありますが、先輩方から学んだことを来年に引き継いで新しい学校を作れるように頑張ります。本当にありがとうございました。…

卒業生答辞より抜粋

私たちが入学したときは、コロナ過で、様々な活動が制限されたり、学校行事を見に来てくれる人が減ったりと、何かと変わったことがいっぱいありました。変わっていくなかでも、私たちはその一つ一つの活動を精一杯に取り組んでこれました。また、先輩や後輩のみんなとともに成長をしてこれました。

特に、三年生として過ごしたこの一年は、この学校の代表として全校生徒の前に立って引張っていく立場として、多くの難しさや大変さを感じた一年でした。特に、生徒会最大の行事である譲葉祭が印象に残っています。今年の譲葉祭は、この中学校で行う最後の譲葉祭でした。全校生徒七人という少人数だったので、仕事の大変さを感じながらも、お互いに支え合い、先生方に、協力してもらうことで学校一丸となって活動した。本番では、全校生徒が一丸となって、大成功を収めることができました。特に今年初めて挑戦したステージ MC は、自分たちのアドリブで見に来てくれた人と交流しながら進めることが出来たのが楽しかったです。譲葉祭を大成功におさめたことは、私たちに自信を持たせてくれました。…

令和5年度末に転退職される先生方 ～お世話になりました。～

保科 公幸 教頭先生 . . . 中川村立中川中学校へ
渡邊 康平 先生 . . . 長野県屋代高等学校附属中学校へ
唐澤 京子 先生 . . . 飯田市立高陵中学校へ
森本 美智子 先生 . . . 泰阜村立泰阜小学校へ
ヤニック・フルサール先生 . . . 下高井郡山ノ内町へ
塩澤 孝仁 校長 . . . 校長退任 飯田市立旭ヶ丘中学校へ

(保科 公幸)

3年間大変お世話になりました。この天龍中学校の赴任が決まったとき、かつて飯田市上村に家族で生活をしていたこともあり、この南部地区でまた生活でき、関われるということを経験して喜んだことを思い出します。素直な生徒たち、温かな地域の皆様に支えられながら生活できましたことに感謝の思いでいっぱいです。また、小中併設になるこの節目の時に天龍中学校職員として関わられたことを大変光栄に思います。今後天龍村のますますのご発展を上伊那の地より祈念しております。

(渡邊 康平)

3年間ありがとうございました。最初天龍村に赴任すると分かったとき、自分の故郷の麻績村と規模や雰囲気近く安心したことと同時に今まで働いてきた環境と異なるため不安を覚えたことをよく覚えています。しかし、学校の生徒はもちろんのこと地域の皆さんもとてもあたたかく、不安がすぐに吹き飛びました。天龍村の生徒の心のあたたかさはどこの中学生にも負けない素晴らしいものだと思います。次の学校でも、天龍村の生徒のような生徒を育てられるように、ここで学んだことを生かしたいと思います。本当にありがとうございました。

(唐澤 京子)

天龍村に初めて来たときに、天龍中学校の桜がきれいだったことを今でも思い出します。他の人への思いやりを持った生徒や、温かく支えてくださった先生方、温かく学校を見守ってくださった保護者の皆様や地域の皆様のお陰で毎日楽しく過ごすことができました。この出会いを忘れずに、大切にしてお返ししたいと思います。ありがとうございました。

(森本 美智子)

天龍中学校の50周年記念、60周年記念、そして小中併設の前の年といういくつかの大きな節目に、たまたま偶然にも立ち会わせていただきました。窓から見える風景は何も変わらないように見えます。今は天竜川が目前にありますが、4月からは小学校に上がります。生徒の皆さん、保護者の皆さま、そして地域の皆さまには、長きにわたり大変お世話になりました。ありがとうございました。皆さま ますますお元気で

(ヤニック・フルサール)

One year is very short, but it was a great experience. From one mountain to another I could feel your warm hearts during English classes and at school. As the 3rd graders, I will also have a new beginning next year and I hope that ,for you who stay in Tenryu, you will do your best next year too. I will also do my best in my new position and I hope we will meet again someday! Thank you!

(塩澤 孝仁)

四年前、校長として、天龍河岸に棕櫚の木が立ち並び、桜の咲く登龍門の坂を登ってきた景色を今も覚えています。コロナ禍が始まり、活動が制限されながらも、教育活動の本質から見直すことを学んだスタートでした。地域の方と関わりも制限があり残念でしたが、多くの方に支えられここまでやってくることができました。本当に充実した4年間でした。本当に感謝申し上げます。併設校としての新しいスタートに期待したいと思います。みなさんお元気で！